

代神の受けた「使者」の任

今、神の子信者一人ひとりが、命の源、大山祇命の存在を知り、神魂に心を寄せて生きられるのは、すべて供丸齋先生のおかげです。

供丸齋先生は、この人間界に初めて大山祇命の存在とその御名をお教えくださった大恩人です。また、人間が幸福になるための神の教え、神、仏、人の道をお説きくださった大恩師でもあります。さらには、供丸齋先生に大山祇命の神魂が封じ込められている事実を見抜かれ、直使の道へと導かれ、神の意図される真実が世に明かされることを見通された大予言者なのです。

供丸齋先生の半生は、俗世に身を置かれ、人の世の在り方を学ばれました。そして、残る半生は、神の存在と神の教えを世に示し、直使を世に出す偉大な使命を帯びられた、大山祇命の使者としての大任に当たられました。

その長い歳月を経て、大山祇命が神意とされる神示教会の真実、まことの救いを実現する希望の光が、直使の手により開かれたことを見届けられて、供丸齋先生は御心安らかに神の御元に戻られたのです。昭和六十三年十月二十九日、八十五年間の尊い人としてのご生涯に幕を下ろされた、代神誕生の時でした。

神 示

心の道を歩いて四十年 供丸齋は神となられ 信者 世の人永遠に救う

供丸齋の茨の道は 今日日の教会基なす宝

「神総本部」

「真実の真理」

喜び御胸に 供丸齋の御魂安らか

心の道に光る代神の 面影尊し

今は神なり

供丸齋先生は、この世の支配者である最高神、大山祇命の存在を初めて人間界に表されました。そして、大山祇命の化身、供丸齋先生のもたれる古生童子直使の御魂という尊いご正体を現すために、身命をかけられました。その真実が明かされた時、供丸齋先生の使者としての任は終わり、人としての人生に幕を閉じ、同時に供丸齋先生ご自身もまた、そのご正体が何であったかが明かされたのです。

神 示

供丸齋は 神となる

供丸齋の御魂は 神示教会守護神と申す

昭和の年に世にいて 神示教会創始者として

神の身代わり 日本国に磨きをかけたる尊き足跡